

讃岐香川の様々な文化発展を応援します。

2004

# 文化通!!

夏

6月1日発行(季刊)



2004/05

NEWレオマワールドのお宝村入口で出迎えてくれるのが  
ヨサコイニッポンアカデミーの皆様が贈るIZANAI SHOW。  
元気な、元気な!「世さ来い」で来場のお客様も笑顔がはじける。

2004

鼎談 「桃山の茶陶」 樂焼茶碗と和物茶碗 その1  
特別寄稿 きものde探検隊！ 香川県支部の活動  
好評連載 Oh！茶Gal！／喫茶居  
6月から8月までの茶華道・イベント情報を掲載

鼎談  
「桃山の茶陶」  
その二

樂燒茶碗と和物茶碗

余碗

武者小路千家 家元後嗣

樂家第十五代當主  
谷松戸田商店 権社長  
戸田 博

平成十五年十月五日(日)午後一時三十分より香川県歴史博物館地下講堂に於いて、戸田博氏をコーディネーターに迎え、実現致しました茶道界注目の三氏による夢の鼎談を誌上に再現致しました。今回はその前段の部分の要約です。

**戸田** 今、ご紹介がありました千方町さん直ることの千宗屋若宗匠は、利休居士から数えまして十五代目としての後継者の立場を正式に継がれまして、もう多方面に渡つて茶の湯のありようといいますか、特に、今後の茶の湯はどうあるべきかということを一生懸命模索されております。どうぞ皆さんも、よろしく御後援賜りますようお願ひ致します。

真ん中におられますのは、これまた十五代目を継がれております樂吉左衛門殿でございます。当代の活躍振りは皆様ご承知の事と思います。

か、特にその中で桃山時代の和物茶碗。

さて、今日は「桃山の茶碗」といいますか、特にその中で桃山時代の和物茶碗。これは、日本の純粹芸術とでもいいますか、一般にいわれますファインアートというものではなくて、そういう茶の湯を中心とした非常に芸術性の高いものが生まれてくる訳です。

今日は、樂さんの方からは、樂茶碗について。特に長次郎という、初代の茶碗について、所見をお伺いしようと思います。まず最初に、急に振りますけれども宗屋さん



う存在があり、利休もまた、桃山時代とう時代の中の一人の茶人にはぎなかつた。ただ秀吉の茶道という権力を背景にしたことで、同じ時代の茶人の中では、圧倒的な影響力とそして魅力を持つていた。それが、千家という形をとつて後世に残つてきたから、最終的に、利休が茶の湯の全てのようないい象を今日持たれているわけで

戸田 そうですね、ありがとうございまし

利休以前は、いわゆる唐物道具、中国から舶來した珍しい美術品、そういったものを一定のルールに則つて、座敷に飾つたり、鑑賞し、そういう場所でお茶も飲んだ。そこには、非常にデリケートな美術品を扱うわけですから、かなり、最初の頃から、細かい、レベルの高いもの同士で、こゝこゝ

くといふよな作業をします

がいい川・川なんかも同時に存在してました。それが、道具によつていろいろと変化があつたり、かなり、多岐にわたつて煩雑になつてしまつたものの利休が、簡略化していくたとえいうふうに考えていただきたいのです。ないかと思います。

き立たせていくんだという強いセンス、美

最初は唐物、中国の天目や青磁がありますね。どちらかというと固い、焼き締まつたような、端正な姿のお茶碗が最初にあつて、

そして、その人に命じて、茶碗を焼かせ始めた。

そこで、茶の湯のために純粹に作られた道具といったのは、一点も存在しないわけですね。

ちよつとお話を聞えます?

その後、今、戸田さんが純粹芸術という言葉を使われましたけど、日本のお茶のためには使う物として、桃山時代に創造されたといった物、これが和物茶碗です。その一つの頂点として、樂さんのご先祖である長次郎に、私の先祖である利休が指導して作らせた、赤と黒の楽茶碗の存在を挙げることができます。

樂 今、若宗匠がおつしやつたように、利  
休から始まつたんではないんだと。それは  
長い歴史と日本の文化の流れに乗つかつて  
茶の湯があるんです。その辺は、まあ  
とにかく、そこまで逆上らずに、桃山とい  
う、現代、皆さんが考えておられるお茶の  
始まりの中とらえた時に、やつぱり、最  
初に生まれてくるのが楽茶碗なんです。

よく「樂さん、桃山の焼き物つていうのは、どういうものですか?」と聞かれた時に、すかさず自分はこう答えるんです。あの瀬戸黒という、ごつくて、大きくて、野太くて、力強い。あるいは、志野の柔らかな美しい、釉薬がかったもの。それから変形を交えた、あの非常に作意的といいますか、意識のこもった織部茶碗。それらが

す、一つと流れで行つて、それぞれに釉薬も違うし、色も違うし、造形もずいぶん変容していくんですね。それでもやつぱり、一つの大きな桃山という流れの中にあるんです。しかし同じ時代を流れで、同じ空気を吸っているにも関わらず、長次郎の茶碗だけが、徹底して違つているんです。まさに、その違いの中に長次郎茶碗の本質があります。でもそれは現代風に言つて、じゃあ長次郎という作家がね。と言うことでなくそこに感じられるものは、やっぱり、利休さんというもう一人の人間を立てないと、どうしても説明つかない。

だから、これは、千家の若宗匠を前において失礼な話にもなるんですけども、四百年経つた現代において、もし、利休を感じるとすれば、僕は、やっぱり道具の中にはならないかな。それは、長次郎の中の、しかも数碗。全ての長次郎ではありません。きびしく言えば数碗の長次郎と、数点の、やっぱり花入れかな。それからあとは、茶杓もあるかもしれない。もう一つは、京都山崎の茶室「待庵」の二畳の極小の空間。その中にしか利休を感じるものは、もう今やないような気がします。

それは、何ていうのか傲慢な勝手な物言いですけれども。それはまあ、自分が物を作つている実際に茶碗を作つて、人間だからよけいに、その物の中にしか、もう利休を感じられないというふうに言うのかもしれませんけれども。それほどに、長次郎の茶碗というのは、利休と重なつてしまふ。重ならないと、あの造形は、あの深

さというのは説明できない。

戸田 ありがとうございます。今でも、長

次郎の話が、実はなかなか分からぬ部分が多いんですね。樂焼も含めて和物茶碗のことを考えてみますと、長次郎の後ろには、利休という人が見え隠れするというか、はつきりと存在している訳です。そして、例えば織部もそうなんです。実は、志野にしろ、瀬戸黒にしろ、美濃の強い焼き物の後ろには、やはり、いわゆる一般的の数寄者というだけじゃなくて、かなり権力も持ち得たような、数寄者の存在が見え隠れする。

つまり、作家一人の意識だけでは、あんな志野や織部や、ああいうものをお茶の世界に送り込んで行くことはできなかつたんじゃないかな。それを庇護するというか、後押しするというか、強い後援者がいたんだという気が、僕はしてならないんです。皆さんもどうお感じになるか、やっぱり一番大切なことは、まず、感じ取つてもらうこと。学習することだけではなくて、感じ取ること。茶の湯で一番大切でありながら継承されて来なかつたのは、この感じ取るということだと思います。いつの間にかこう、利休の教えが形骸化してしまつた。つまり利休の教えを言葉のみで伝えてしまつていてるということだと思います。利休が生み出した茶に対する意識とか、後世千家が誕生していく中で、利休の意思とかといふものが、しっかりとそれ以外の桜に出会いはない。桜の種類に拘らず北上したり南下したりして気ままな旅をしてみたい。

ふと、桜前線に沿つて日本列島花見の旅ができるかと思つた。気象庁の発表する桜前線は全国百箇所のソメイヨシノの標準木を基準にするからそれ以外の桜に出会えない。

奈良・吉野山、三万本のシロヤマザクラも見落とせない。岐阜・根尾の「淡墨の桜」も画家・中島千波氏の絶賛するエドヒガンである。さらに、「天下第一の桜」といわれる

## 「桜前線北上」の夢

中條文化振興財団理事  
香川県商工会議所女性会会長

吉岡和子

### リレートーク

金刀比羅宮本宮の天井画「桜樹本地蒔絵」が公開され、その見事さとデザイン化された桜の美しさに刻の経つのを忘れていた。散らばる桜だが人の心を捉えてしまう。「花の命は短かくて苦しきことのみ多かりき」と林芙美子が詠つたように、桜の花はあつという間に散つてしまつ。もつともつと満開の桜を見分けられたら、雲にのつて花を追つかけていけたら素敵なのに……。

ふと、桜前線に沿つて日本列島花見の旅ができないかと思つた。気象庁の発表する桜前線は全国百箇所のソメイヨシノの標準木を基準にするからそれ以外の桜に出会えない。桜の種類に拘らず北上したり南下したりして気ままな旅をしてみたい。

一月中旬に沖縄の名護をスタートし、九州、本州の桜の名所を巡り、五月中旬に北海道の根室でゴールするという四ヶ月間のゆつたりプランを考えた。空想だがわくわくしてくる。まず、一月中旬に名護中央公園で一万本のカンヒザクラと対面。沖縄の桜を堪能したのち、二月上旬、九州に上陸。鹿児島・磯公園のカンヒザクラ、宮崎・堀切峠のヤマザクラに酔い、霧島・阿蘇・雲仙の麓のヤマザクラ等を鑑賞したのち、三月下旬、島原城のソメイヨシノなどで往時月を懐ぶ。

千代さんが「日本一」と讃えた岩国・錦帯橋の三千本の桜に面会。続いて、津山・鶴山公園や国宝・姫路城の桜などを満喫する。

以前の問題で、私自身も天に向かつて睡吐これまで、茶の湯の現状がどうこう言うべきだ。自分の責任の下に、その言葉をまた後世へ送り伝えていくという仕事が、案外されていなかつたのではないかと。

五月上旬から北海道に上がる。桜前公園に二百五十種、八千本の桜が競い合い、「桜資料館」もある。さらに、静内町には八千口、一万本の桜が続く。

五月月中旬から網走のエゾヤマザクラ、根室のチシマザクラなどを見て、この旅は終わる。だろうが、人生は一度きり。江戸時代には、遠出の旅をしたという。西行のように「願わくば、花の下にて春死なむ」といいたらと思う。



## 「きものde探検隊」

### 香川県支部の活動

若い女性の間できものを着るというのが静かなブームになっています。東京でも都内の能楽堂に若いきもの姿の女性が増えているそうです。お茶会などでもよく見かけるようになりました。今回は「普段着にもきもので…」という提案をされている安藝良司氏に活動の一端を紹介頂きました。（編集部）

この度、香川県在住の（実際は県外の方も参加されています）「きものファン」の方が集まり、「きもの」を着て楽しむ集い「きものde探検隊」香川県支部を結成いたしました。

この会は誰でも自由に参加できる会で、毎月定期的に開催されるものです。昨年十一月の香川県支部発足では「き

ものde Xmas」と題して、中央公園広場のジャンボツリーの前に集合して頂きました。第一回目でありながら、男女年齢職業に関係なく約三十名の方が集まり、楽しいひとときを楽しみました。

又、翌日この様子を地元新聞社にも大きく取り上げて頂き、新たにメンバーさんも増え、どんどんと「きもの大好き人」が集まり日本文化である「きもの」に改めて見直されている今日この頃です。



第4回 「きものde探検隊」こんぴら歌舞伎

この度、香川県在住の（実際は県外の方も参加されています）「きものファン」の方が集まり、「きもの」を着て楽しむ集い「きものde探検隊」香川県支部を結成いたしました。

この会は誰でも自由に参加できる会で、毎月定期的に開催されるものです。昨年十一月の香川県支部発足では「き

ものde Xmas」と題して、中央公園

広場のジャンボツリーの前に集合して頂

きました。第一回目でありながら、男女

年齢職業に関係なく約三十名の方が集

まり、楽しいひとときを楽しみました。

又、翌日この様子を地元新聞社にも大

きく取り上げて頂き、新たにメンバーさ

んも増え、どんどんと「きもの大好き

人」が集まり日本文化である「きもの」

に改めて見直されている今日この頃です。

実際のところ「きもの」を着る場所

がないとか、着る時がないとか「きもの」が好きだけれど一人で着るには恥ずかしいと悩んでいらっしゃる方が多い

ようです。

日本は世界に誇る有数の染織産地で、

しかもほとんどが手仕事を行っておりま

る為にも、地元の人々の「きもの」に

ほどあり、地域の町興しなども手掛け、

京都を拠点として全国に六十三支部

があります。

この素晴らしい染織技術を守り育て

る活動として、NPO法人「きものを

着る習慣をつくる協議会」として認定

されました。

今回、この私共の活動が認められ、晴

れています。

今年四月にNPO法人「きものを

着る習慣をつくる協議会」として認定

されました。

この素晴らしい染織技術を守り育て

る活動として、NPO法人「きものを

着る習慣をつくる協議会」として認定

# Oh! 茶Gai!

その⑳



待ち合わせの場所に颯爽と着物姿で現れたのは高松市内にお住まいの高橋香織さん。彼女がお茶を始めたのはつい一年半ほど前。着物好きの彼女もって就職も空港関係に勤め数多くの外国人達と接するにつれて、逆に日本の文化の奥深さに気が付いたからだそうです。能や狂言に興味を持ち、着物が身近に感じられた時に立ち寄ったお店で出会った着物を着てみて本当の自分らしさを見つけたそうです。それからは機会があると、どこへでも着物を着ていくそうです。お茶の教室も好きな着物を着て楽しくお茶を習うつて感じで始めたそうです。「着物も外出着の選択の一つとしてみんなもつと着て欲しいな。新しい自分が見つかるかも?」と微笑む高橋さんでした。

## 喫茶居(二十)

### 「里坊のお茶」

桜にさきがけた早春の一日、財団晴友会のみなさんと、大津市坂本にある内海俊照師の律院と、京都御所近くの冷泉家を訪ねました。内海師は坂出市出身で千日回峰の偉業を遂げた天台宗の高僧、冷泉家は藤原定家を祖とする和歌の家です。



比叡山麓の町・坂本には延暦寺で厳しい修行を重ねた僧侶の隠居所として建てられた、たくさんの里坊がありました。旧竹林院もそのうちの一つで、茶室を配した庭園の散策や主屋でお茶の接待などが楽しめ、バス旅行の疲れをいやして一息つきました。おもてなしや庭の手入れをしていた方々の身のこなしやお話し振りに、やさしい歓迎の心情が感じられ、歴史と信仰の町の印象がとてもうれしいものになりました。

多くの「きもの愛好者」が活動しています。入会資格は、「きものが好き」…といふ気持ちがあれば、気軽に参加できます。

日本人の体に流れている「きもの」を着ていたDNAが「きもの」を好きにさせ、誰でも似合う理由になっています。

「きもの」が好きな方、「きもの」をこれから着てみたい方、タンスの中に「きもの」が寝ている方、是非NPO法人「きものを着る習慣をつくる協議会」が主催します「きものイベント」にご参加下さい。

今後の香川県支部の活動予定では、みなさんのご意見を募り、香川県の名所・旧跡やグルメ、ショッピングを楽しんだり、又、異文化とのコラボレーションなど、幅広く展開をしていく予定です。

そして近い将来、わが町この香川にて「きものが似合う町並宣言」ができるよう推進していく予定です。

一人からでも参加できる楽しい雰囲気の会ですので、お気軽に問い合わせ下さい。

#### ■問い合わせ先

NPO法人

「きものを着る習慣をつくる協議会」

香川県支部長 安藝良司

高松市亀井町一一六一 和工房あき内

TEL〇八七(八三一)一三六八

FAX〇八七(八三五)五三三一

最澄を象徴する尊いものが文化財になり、観光資源として人々を潤す時、欠かせぬものは「人の心」なのねと、うなづきあいながらお薄を一服いただきました。

入席時間ご案内	第一席 九時	第六席 一三時一〇分
第二席 九時五〇分	第七席 一四時	第三席 一〇時四〇分
第五席 一二時三〇分	第八席 一五時四〇分	第四席 一二時二〇分
各席二五名	一時間四〇分	各席二五名

◆懐石講座「精進料理」三友居 八月三日(火)午前一時・午後三時	◆「和菓子講座」 八月六日(金) 高橋初乃先生	◆「月に一度の喫茶室」八月一七日(火) 大西屋山氏(久文)作品展示
◆「瀬崎麻里子サロノコンサート」 八月二二日(土) 詳細は裏表紙で案内	◆「南方録を読み解く」伏見章先生 八月二十四日 午後一時三〇分~二時間	◆「南方録を読み解く」伏見章先生 八月二十四日 午後一時三〇分~二時間
◆九月月釜予告 昨年六月安部流お家元に釜をかけていただけ、皆様お楽しみ下さいましたが、本年は、季節をかえ重陽の節句を過ぎて、釜をかけて下さることになりました。	◆九月月記 とき 平成一六年九月一二日(日) 処 当財団 美藻庵・晴松亭 席主 六六壳茶安部庵家元五世坂本大定 詳細は後日ご案内しますが、ご希望の方はご連絡下さい。	◆九月月釜予告 昨年六月安部流お家元に釜をかけていただけ、皆様お楽しみ下さいましたが、本年は、季節をかえ重陽の節句を過ぎて、釜をかけて下さることになりました。

「月に一度の喫茶室」以外は予約が必要です。お申し込み、お問合わせは、当財団事務局まで(水曜日休館)

高松市番町二丁目一一一一

☎(087)826・3355

# 茶道ガイド

安部流洗心会四国支部 ☎(0877)86-3442

- 7/4 サンポートホール高松開館記念行事  
高松市市民文化祭  
「アーツフェスタたかまつ2004」茶会  
サンポートホール高松 500円 9:00~15:30

一茶流一茶庵 久松会 ☎(087)885-2322

- 6/6 小松一優師七回忌追善第37回菖蒲茶会  
栗林公園掬月亭 1500円 8:20~15:00

江戸千家不白会香川支部 ☎(087)851-5330

- 7/3 サンポートホール高松開館記念事業  
高松市市民文化祭「アーツフェスタたかまつ2004」  
茶会といけ花展茶会 席主：渡辺宗喜  
サンポートホール高松和室 500円 9:00~16:00

- 9/12 栗林公園月金 席主：中村宗敬  
掬月亭 800円 10:00~15:00

財団法人小原流高松支部 ☎(087)833-9274

- 8/22 小原流夏休み親子いけばな講座  
高松市総合福祉会館6階大会議場 500円 10:00~12:00

表千家同門会香川県支部 ☎(087)874-0458

- 7/11 表千家流四季茶会 席主：真辺宗敬  
本覚寺別院 500円 9:00~15:00

- 7/11 栗林公園月金 席主：武川和枝

掬月亭 710円 9:00~16:00

琴平月釜茶道会 ☎(0877)58-9551

- 6/13 松尾寺月釜（表千家） 武川和枝  
松尾寺 500円 9:00~16:00

茶道裏千家淡交会香川支部 ☎(0877)46-1899

- 6/6 坂出分会月釜 中川宗文  
翠松閣 500円 9:30~14:00
- 6/13 坂出市菖蒲茶会 坂出分会C班  
川津菖蒲園 300円 10:00~15:00
- 6/15 善通寺献茶 善通寺担当  
総本山善通寺 500円 10:00~14:00
- 7/4 坂出分会月釜 北地宗多  
勤労福祉センター 500円 9:30~14:00
- 7/4 観音寺分会月釜 岡田宗美  
働く婦人の家 500円 12:00~15:30
- 7/4 善琴分会月釜 朝風会  
善通寺樟蔭軒 500円 10:00~14:00
- 7/11 多度津分会月釜 大石宗喜  
共同福祉施設 500円 13:00~15:00
- 8/8 丸龜分会月釜 佐藤宗秀  
市民会館 500円 9:30~15:00
- 9/5 坂出分会月釜 土岐宗秀  
勤労福祉センター 500円 9:30~14:00
- 9/5 観音寺分会月釜 関宗文  
働く婦人の家 500円 12:00~15:30
- 9/5 善琴分会・乃木円珍祭り 稲毛宗敏  
金藏寺 500円 10:00~15:00
- 9/12 善琴分会月釜 北山宗博  
善通寺樟蔭軒 500円 10:00~14:00
- 9/12 善琴分会月釜 田中宗武  
琴平松尾寺 500円 10:00~15:00

茶道裏千家淡交会高松支部 ☎(087)865-7150

- 6月 淡交会高松支部月釜 席主：阿河宗美  
天神会館 当日券600円 9:00~16:00
- 7月 淡交会高松支部月釜 席主：河瀬宗知  
天神会館 当日券600円 9:00~16:00
- 8月 淡交会高松支部月釜 席主：井上宗修  
天神会館 当日券600円 9:00~16:00
- 9月 淡交会高松支部月釜 席主：高原宗知  
天神会館 当日券600円 9:00~16:00

三癸亭賣茶流高松仙友会 ☎(087)831-4649

- 6/27 高松仙友会茶会  
玉藻公園披雲閣 1100円 9:00~15:00
- 8/1 蓮見茶会 松岡愛子社中  
栗林公園商工獎勵館 1200円 6:30~13:30

玉藻公園管理事務所 ☎(087)851-1521

- 6/6 英公様追悼遊泳祭  
6/9 あけぼの句会  
6/13 名物 かまと茶会  
6/27 三癸亭賣茶流高松仙友会茶会  
9/8 あけぼの句会  
9/11~13 名僧・高僧大墨蹟展（茶会）
- 武者小路千家香川官休会 ☎(087)851-2258
- 7/4 香川官休会月釜 席主：牛熊照子  
本覚寺 500円 9:00~15:00
- 8/1 香川官休会月釜 席主：真部佳子  
本覚寺 500円 9:00~15:00
- 8/1 蓮見茶会 香川官休会在松会  
栗林公園掬月亭 1200円 6:30~13:30
- 9/5 香川官休会月釜 席主：佐々木博子  
本覚寺 500円 9:00~15:00

次の期間（9月1日から11月末日）の情報を8月10日までにお知らせ下さい。

上記予定は変更する場合もあります。

# イベントガイド

さぬき市教育委員会事務局生涯学習課 ☎(087)894-1000

- 〈さぬき市志度音楽ホール〉  
7/25 ふるさとリサイタルシリーズXIX  
伊藤恭子（ヴァイオリン）・石川陽子（チェンバロ）ジョイントリサイタル  
13:30~●  
9/19 RNCラジオ「岡田寛のタンゴアルバム」  
50周年記念コンサート  
京谷弘司とクワルテート・タンゴ&  
柚木秀子特別演奏会 13:30~●

とらまる公園事務所 ☎(0879)25-0400

- 〈とらまる座〉  
6/2~6 人形劇 人形劇団ばんび 10:30~13:30~●  
7/17~19 人形劇 人形劇団むすび座 13:30~●  
7/24~25 夏休み人形劇祭  
県下アマ劇団発表会 13:30~●  
8/4~8 人形劇 トモキチ笑劇場 13:30~●  
8/11~15 人形劇 らせんくらぶ 13:30~●  
8/18~22 人形劇 とんがらし 13:30~●  
8/25~29 人形劇 ジョイホナ 13:30~●

坂出市民ホール ☎(0877)45-1505

- 7/18 第21回 坂出市民大学夏期講座 時間未定 ●  
7/23~25 カワイ音楽教室 発表会 時間未定 ■  
8/1 香川県吟劍詩舞道大会 時間未定 ■  
8/6 さかいで大橋まつり（前夜祭） 時間未定 ■  
8/7 さかいで大橋まつり（瀬戸大橋パレード・ミニコンサート） 時間未定 ■

丸亀市民会館 ☎(0877)23-4141

- 6/5 坂本冬美コンサート2004 14:30~18:30~●  
7/7 オーケストラ鑑賞教室「関西フィルハーモニー管弦楽団」 高校生鑑賞教室  
11:00~13:40~●  
7/8 オーケストラ鑑賞教室「関西フィルハーモニー管弦楽団」 高校生鑑賞教室  
10:00~12:10~14:20~●  
7/24~25 スタインウェイピアノリーコンサート 9:30~■  
8/29 キングレコード吟詠剣詩舞会 平成16年度全国大会「吟舞の祭典」  
時間・入場料等未定

丸亀市立資料館 ☎(0877)22-5366

- 5/15~6/27 ふるさとのおもちゃ展・現代郷土玩具の魅力 9:30~■  
7/10~18 第69回香川県美術展覧会受賞作品展 9:30~■
- 丸亀市文化協会 ☎(0877)24-8822
- 8/13~14 市民盆おどり大会 市民ひろば 19:00~■  
9/12 第13回名作映画まつり 生涯学習センター 10:00~●

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ☎(0877)24-7755

- 6/6~7/19 猪熊弦一郎展 ニューヨークからの発信 10:00~●  
6/26 ワークショップ「ゴミじゃない、鳴らせば樂器!」 10:00~■  
6/27 コンサートわねわね音楽会 14:00~●  
7/25~9/12 やなぎみわ展（仮称） 入場料未定 10:00~

あーとらんど キャラリー ☎(0877)24-0927

- 1階絵画ギャラリー  
6/19~7/11 筆塚稔尚 新作「西行絵詞」展 11:00~■  
7/11~17 名嶋憲児 版画展 11:00~■  
9/4~26 白川雅啓展 11:00~■  
(2階工芸ギャラリー)  
5/27~6/20 浅原千代治 吹きガラスグループ展 11:00~■  
7/4~19 佐竹藍月 染色展 一すなご染にこめた想い一 11:00~■

総合会館アイレックス ☎(0877)86-6800

- 7/25 あやうたサマーコンサート 陸上自衛隊第2混成団音楽隊公演 18:00~★  
7/29 NHK「昼の歌謡曲」公開録音 18:00~■

多度津町民会館 ☎(0877)33-3330

- 6/13 瀬戸フィルハイバー2004コンサート & クリニック 14:30~●  
7/4 第14回七夕カラオケコンサート 10:00~■  
8/3 劇団四季ファミリーミュージカル「桃次郎の冒険」 18:30~●  
8/8 たどつ夏まつり 17:00~■  
8/11 善通寺第一高等学校管弦楽部 第26回定期演奏会 18:30~●

# イベントガイド

香川県県民ホール ☎ (087)823-3131

〈グランドホール〉		7/19	NHKおかあさんといっしょ宅配便 「ぐーチョコランタン小劇場」
6/19 ウラディーミル・アシュケナージ&イタリア・バドヴァ管弦楽団	14:00~●		第2小ホール 時間未定★
8/29 KJO第3回定期演奏会	14:00~●	7/19	第31回「さぬき民謡まつり」 大ホール 9:00~●
〈アクトホール〉			
6/26 高校演劇講習会	時間未定 ■	7/22	「KIYOTO FUJIWARA JAZZ CONCERT SKY&SEA」 第1小ホール 19:00~●

香川県文化会館(休館日月曜) ☎ (087)831-1806

〈企画展〉		7/24~8/8	「第1回サンポート演劇祭」 会場・開演・料金各劇団毎
5/29~6/13 第69回香川県美術展覧会(前期)	9:00~●	7/31	今を踊る「橘 芳慧と弧の会」 大ホール 13:30~●
6/19~7/4 第69回香川県美術展覧会(後期)	9:00~●		
7/24~8/22 ピカソの顔、かわ、FACE	9:00~●	8/1	香川ジュニア音楽コンクール20周年記念 「ゴールデンコンサート」 大ホール 13:00~■
〈常設展〉			
5/29~7/4 イサム・ノグチ 一無を造形する— 月曜日・6/14~6/18休館	9:00~●	8/8	「瀬戸フィルハーモニー交響楽団オーケストラ公演」 大ホール 14:00~●
7/24~8/22 東山魁夷 —版画にみるヨーロッパの情景—	9:00~●	8/20	小椋 桂ファミリー・ミュージカル 「思い出たちに花束を～SHOW BY THE TEENAGERS」 大ホール 18:00~●
9/4~10/18 明石朴景 一漆・新しいデザインの試み— 月曜日休館但し10/18開館	9:00~●	8/21	ファミリーコンサート 山本祐ノ介の音楽探偵団「ミュージック・スタート!」 第1小ホール 14:00~★

高松市歴史資料館 ☎ (087) 861-4520

8/7~9/20 第36回特別展「複製メディアとネットワーク」展(仮称)	9:00~●	8/22	「名古屋むすめ歌舞伎」 大ホール 14:00~●
サンクリスタル高松4階特別展示室	9:00~●	8/25~26	「アジア・ユース・オーケストラ2004」 大ホール・第1小ホール 25日 18:30~● 26日 15:00~■

高松市美術館(休館日:月曜) ☎ (087)823-1711

〈1階展示室〉		8/28~29	郷土芸能の競演「玉藻よし瀬戸の夢2004」 大ホール 13:00~●
5/28~8/15 第2期 常設展	9:30~●		
〈2階展示室〉			
5/28~6/27 日本伝統工芸展50年記念展「わざの美」	9:30~●		
7/23~8/29 アンテスヒカーナ人形	9:30~●		
9/11~10/17 THE ドラえもん展	9:30~●		

サンポートホール高松 ☎ (087)825-5010

5/31~6/16 若手アーティスト美術・工芸展 「ark art exhibition」市民ギャラリー	10:00~■	6/5	文芸講座 「田山花袋と上下町」 13:30~■
6/5~6 ヤザキタケシ・コンテンポラリーダンス 「ブルータイム」ロングバケーション公演 十ワークショップ		7/10	文芸講座 「壹井栄の文学③」 13:30~■
5日 ワークショップ(先着40人)	14:00~■	8/7	文芸講座 「芥川龍之介の半生」 13:30~■
6日 ダンス公演	14:00~●	9/4	文芸講座 「現代短歌の楽しさ」 13:30~■
6/5~6 サンポート高松フルート・フェスティバル 5日 B.フロマンジエによる公開レッスン	10:30~●		
6日 コンサート	14:00~●		
6/13 「NHKのど自慢」 大ホール 12:40~★			
6/13 「東西お値打ち寄席」第1小ホール 14:00~●			
6/15 演劇「狐狸狐狸ばなし」 大ホール 19:00~●			
6/20~7/4 高松市市民文化祭 「アーツフェスタたかまつ2004」			

6/23 ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」  
大ホール 18:30~●

7/5~6 「ボスニア・ヘルツェゴビナの子どもたちの叫び」 絵画展	市民ギャラリー	7/13~19	小林正六展(仮称) 9:00~■
7/6 第33回ドコモコンサート 「ザルツブルグ・モーツアルト・セレナーデ・アンサンブル」	大ホール	7/21~8/1	四国新聞連載～菊池寛原作～ 「貞操問答」原画展 9:00~●
7/9 第10回「かがわ演歌まつり」 大ホール 13:30~18:00~●		8/3~9/5	国際子ども秀作絵画展 9:00~●
7/11~17 高松市文化奨励賞受賞者の集い 第5回「高松文化祭典」			

11日 ステージ 大ホール 13:30~●

茶会 和室 10:00~15:00●

11~17日 作品展示  
市民ギャラリー 10:00~19:00■

7/17 ファミリーコンサート「ボスニア・ヘルツェゴビナの子どもたちの叫び」	大ホール	7/11	「BONNIE PINK」 17:30~●
7/18 朗読コンテスト「詩のボクシング香川大会in高松」	第2小ホール	7/12	「CHARA」 19:00~●
		9/4	「太陽族」 時間・入場料等未定
			問合せ先 087-822-2520 デューク

大会in高松 第2小ホール 13:30~■

●は有料、■は無料、▲は参加料、★は整理券が必要です。(記号表示は判明したもののみ)

「文化通心」第43号は9月1日発行です。次の期間(9月1日から11月末日)の情報を8月10日までにお知らせ下さい。 ☎ (087) 826-2212

株三越高松店 ☎ (087)825-0738

〈本館5階 美術画廊〉		6/1~7 張仲達来日展	10:00~■
		6/8~14 2004年三越美術特選展 第1週「和の美」	10:00~■
		6/15~21 2004年三越美術特選展 第2週「洋の美」	10:00~■
		6/22~28 八代亜紀油絵展	10:00~■
		6/29~7/5 ~時代を見つめて~ 選抜洋画精録展	10:00~■
		7/6~12 吹きガラス 平田将人展	10:00~■
		7/13~19 夏の版画フェスタ	10:00~■
		7/20~26 沈松徳来日展	10:00~■
		7/27~8/2 猪熊佳子日本画展	10:00~■
		8/3~9 第9回新工芸四国会展	10:00~■
		8/17~23 香川県美術家協会チャリティー小品展	10:00~■
		8/24~30 榎俊幸作品展	10:00~■

ギャラリーアコスタージュ ☎ (087)841-8200

6月 音のある風景(江戸風鈴)	10:00~■
7/1~30 銅版画二人展 ク里斯・マキュ(イギリス) イシイ・アソコ(日本)	10:00~■
9/4~30 安井顯太展 小樽のガラス	10:00~■

四季ギャラリー ☎ (087)822-9010

6/1~30 NHK水彩画教室展	7:30~■
7/1~31 山本弘文・ロマンチック街道とウイン	7:30~■
8/1~14 ひょうげ祭り写真展	7:30~■
8/16~31 卒寿の手習い 母・娘展	7:30~■

四国ガス株式会社 ☎ (087)821-0248

〈ガス生活館ピポット〉	
7/30~31 夏休みイベント(親子参加OK)	
10:00~パン教室・13:00~粘土教室	●
土庄町教育委員会 ☎ (0879)62-0238	

8/6 音楽劇「小さなエントツそうじ屋さん」 土庄町立中央公民館 時間・入場料等未定	
8/21 第5回小豆島童謡音楽祭 土庄町立中央公民館 時間未定 ●	

香川町社会教育課 ☎ (087)879-0231

6/6 ふるさと香川2004 芸能まつり 香川町農村環境改善センター	10:00~■
9/12 ひょうげまつり 浅野集落研修センター～新池	14:00~■

牟礼町石の民俗資料館 ☎ (087)845-8484

6/3~27 立木義浩写真展 特別展示室	9:00~■
6/5 立木義浩講演会 特別展示室	13:30~■
6/11 古文書を読む会 講座研修室	14:00~■
6/19 工作教室 光のプレゼント「あかり」 づくり 講座研修室	10:00~▲
6/19 ジャズピアノコンサート エントランスホール	18:30~●
7/3~15 牟礼町文化協会「文月展」 特別展示室	9:00~■
7/9 古文書を読む会 講座研修室	14:00~■
7/17 工作教室 天然石で作るアクセサリーづくり 講座研修室	10:00~▲
7/18~8/29 讃岐の祭りと石人形展 特別展示室	9:00~■
7/28 夏休み工作教室 工作室	10:00~▲
8/8 化石探検教室 場所未定	9:00~▲
8/13 古文書を読む会 講座研修室	14:00~■
8/15 化石クリーニング教室 講座研修室	10:00~■
8/21 工作教室 オリジナル鉄琴づくり 講座研修室	10:00~▲
9/1~30 石の里のアーティストたち 石匠の里公園	9:00~■
9/10 古文書を読む会 講座研修室	14:00~■

上記予定は変更する場合もあります。

「文化通心」第43号は9月1日発行です。次の期間(9月1日から11月末日)の情報を8月10日までにお知らせ下さい。 ☎ (087) 826-2212



話さなくても伝えられるものがある

# 機関車先生



原作：伊集院 静「機関車先生」（講談社・講談社文庫刊/集英社文庫刊）監督：廣木隆一  
坂口憲二 倍賞美津子 大塚寧々 伊武雅刀 堀 正章

5/29[土]香川県先行ロードショー！

ワーナー・マイカル・シネマズ高松  
087-822-0505

ワーナー・マイカル・シネマズ宇多津  
087-49-8450

高松ホールソレイユ  
087-861-3366

(財)中條文化振興財団平成16年度文化啓発事業

香川のアーティストを応援しよう！



コンサート  
サロン  
濱崎麻里子

平成15年度第57回全日本学生音楽コンクール・フルート高校の部 第1位。現在、東京芸大音楽部附属高校の3年生の氏が、夏の帰省を機に晴松亭立礼席でフルートの演奏を聴かせて下さいます。司会は都村慶子先生。

会場 中條文化振興財団茶室 立礼席

日時 平成16年 8月21日(土)

第1部 午後2時開演

(演奏後お茶とお菓子で懇親会があります。)

第2部 午後5時30分開演

(演奏後は欧州のサロンの雰囲気で)

参加費 第1部 1,500円/第2部 3,500円

「声・情報お寄せください」

〒760-0017  
高松市番町二丁目一一一二  
財中條文化振興財団編集部  
TEL(087)826-3355  
FAX(087)826-2212

高松市市民文化祭

## アーツフェスタたかまつ2004 第31回 音楽まつり

■日時／平成16年6月27日(日) 11:00~16:00

■会場／サンポートホール高松第1小ホール

(高松市文化芸術ホール)

〒760-0019 高松市サンポート2番1号 TEL087-825-5000(代)

きらめく季節と一緒に過ごしてみませんか。

■お問い合わせは…

高松市文化協会事務所 TEL087-834-6700

世界に唯一人、  
五弦バイオリン  
の魔術師

長山 哲氏と  
仁バスの10弦ギター繼承者  
宮本徳二氏の  
競演



AKIRA NAGAYAMA  
2004 6.7(月) 18:30開演(18:00開場)  
高松市文化芸術ホール 大ホール  
愛称：サンポートホール高松

●お問い合わせ アマリアアーツ TEL087-843-3419 (受付時間 9:00~15:00)

## 第十一回助成金交付団体 決定のお知らせ

平成十六年度

●茶の湯をさらに楽しむ会

会長 大内泰雄氏

第三回講演会

〔茶の湯〕の成立(仮題)  
講師 熊倉功夫氏

●茶業 代表 瀧波博司氏

掬月亭「夜の茶会」(仮称)

平成十五年度第三回の評議員会を経て、同理事会に於いて決定致しました。なお、助成金の交付対象は、茶湯以外の文化的なイベントも対象としておりますので、文化的イベントを予定されている方は、ぜひご応募して下さいますようお願い致します。

毎週火曜日、我が家の近くのスーパーと丸亀町レツツで「ふれあい市場」と称して産直市が開かれている。これがまた、頗る盛況なのです。午前九時ごろからの開始とあって、買い物に来ている方たちの平均年齢はちょっと高いよう見えました。そして、買い物量はと見ていると、スーパーのレジ袋の半分程度に収まるくらいでした。欲しい物を一~二個づつ買っているのです。小家内では量販店のパック入りは無駄なのでしょう。私も学生時代、高知の日曜市でもらったり、豆腐は半丁、肉類は五十gと量り売りしてもらい、とても生活しやすかつたのを思い出しました。

香川県でも、西部や南部ではもつと以前から産直市が開かれている。農産物だけではなく手作りの惣菜、加工品、お菓子から切り花、花木の苗まで揃っている所もあります。食文化の乱れが指摘されている今日、サンボートの一画ででもこうした産直市を定期的に催して香川の農産・海産物、季節の郷土料理などを紹介し販売する機会とし、私たち住人だけでなく観光客にもお勧めできるスポットになればいいなど願いつつ、さらには「さぬきの物産館」にまで大きくなつて欲しいと夢を膨らませているのです。

## 編集後記